

戦評用紙

大会名	平成28年度 第67回山形県高等学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会山形県予選会
-----	---

日時	2016年6月5日 12:00 ~	区分	山形県高体連
----	-------------------	----	--------

チームA				チームB
山形市立商業				日本大学山形
77	24	1Q	12	33
	14	2Q	4	
	15	3Q	7	
	24	4Q	10	
		延長		

【戦評】

決勝は、13年連続25回目の優勝を目指す山形市立商業と、準決勝で激闘を制し、決勝へ勝ち進んだ日本大学山形の対戦となった。白の山形市立商業のスターティングメンバーは、#4・5・6・7・8。青の日本大学山形のスターティングメンバーは、#4・5・6・7・8。

第1Q、白はマンツーマンディフェンス、赤は3-2ゾーンディフェンスでスタート。ゲームは、白#4の3ポイントシュート、赤#4の2ポイントシュートで始まる。その後、白は#4を中心に効果的に得点を決め、開始4分、白11-4赤となったところで赤が1回目のタイムアウト。タイムアウト後、赤#8の連続3ポイントシュートで反撃。白は#4、#5がドライブ、ミドルシュートを決める。赤は白の堅いディフェンス前でなかなか得点ができない。第1Q、24-12、白12点リードで終了する。

第2Q、白はマンツーマンディフェンス、赤は3-2ゾーンディフェンスでスタート。白は#8#10のインサイドを中心に得点を重ねていく。赤も#8を中心にゲームメイクし果敢に攻めるもなかなか得点を奪えない。残り3分、白34-16赤となったところで赤2回目のタイムアウト。その後、赤が粘り強く守り膠着状態が続く。終了間際、白#5の連続2ポイントシュートが決まり、38-16、白22点のリードで前半を終える。

第3Q、白はオールコートマンツーマンディフェンス、赤は3-2ゾーンディフェンスでスタート。開始1分、赤のターンオーバーから白#4の速攻が決まり、白40-16赤となったところ赤がタイムアウト。流れを変えたい赤は#4のドライブから連続得点を重ねる。それを許さない白は#4、#7、#8が連続得点。赤も#4を中心に反撃するが、なかなか得点できない。53-23白30点のリードで第3Qが終了する。

第4Q、白はオールコートマンツーマンディフェンス、赤はゾーンプレスから3-2ゾーンディフェンスでスタート。赤は開始早々#4のドライブで得点、白は#4、#7の連続3ポイントシュートが決まる。赤は白の堅いディフェンス前でなかなか得点ができない。堅守からスピードを上げた白が怒涛の攻撃をみせ、最後は、77-33で白、山形市立商業が勝利し、インターハイへの切符を手に入れた。

戦評者

菅谷 昭則